

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	阪神電気鉄道株式会社・阪急電鉄株式会社・神戸電鉄株式会社 (神戸高速線)
---------	---

整備方針	
全期間	・お客様に安心してご利用いただける鉄道サービスを提供するため、神戸高速線（東西線・南北線）において、ホームドアを整備する。 ・各駅のエレベーター、エスカレーター等の更新を順次進めていく。
2024～2025年度	・神戸高速線（新開地駅（東西線））において、ホームドアを整備する。
2026～2035年度	・神戸高速線（全6駅）において、ホームドア（20番線）を整備する。 ・エレベーター（1駅2基）、エスカレーター（2駅3基）を更新する。

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額 (円)	10円	10円	(※1)	—
年間徴収額 (百万円)	200百万円 (※2)		130百万円	—
料金徴収 対象駅	神戸高速線各駅			
備考	(注) 設定額は税込額 ※1：1か月380円、3か月1,080円または1,090円、6か月2,050円または2,060円 ※2：普通回数乗車券、団体乗車券、貸切乗車券、一部の企画乗車券も徴収対象とする 鉄道駅バリアフリー料金を加算した運賃に関する詳細は、別途周知する。			

年間徴収額	330	百万円
徴収期間	12	年間 (2025.1.19～2036.3.31) ※2036年度以降も継続予定
総徴収額	3,700	百万円
総整備費	6,818	百万円
	2024～2025年度の計画：	513百万円
	2026～2035年度の計画：	6,305百万円 ※2036年度以降も継続予定

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2024.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	54 百万円
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	駅	基	百万円
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	25	百万円	
収受システム改修費	122	百万円	
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	312	百万円	(※)
備考	(※) その他費用は駅務機器改修費、駅頭表示改修費		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	513 百万円
-----------------------	---------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	0	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2036.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	6 駅	20 番線	5,636 百万円
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	2 駅	8 番線	54 百万円
エレベーター	1 駅	2 基	277 百万円
エスカレーター	2 駅	3 基	147 百万円
備考			
② 車両更新			
路線名	整備数		整備費
	編成	両	百万円
ホームドア整備等 との一体性について			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	191	百万円	
収受システム改修費	0	百万円	(※)
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	0	百万円	(※)
備考	※ 2036年度以降も継続予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用について、本届出には計上していない。		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（(1)～(3)の合計）	6,305 百万円
-----------------------	-----------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	20	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅